

紀北町第2次総合計画後期基本計画  
総合計画評価・検証委員会による検証結果

令和7年3月

紀 北 町



## 目 次

|                                   |    |
|-----------------------------------|----|
| 第1章 評価・検証について                     | 1  |
| 1. 実施の目的                          | 1  |
| 2. 評価・検証の方法                       | 1  |
| 3. 評価・検証委員会の開催                    | 1  |
| 4. 紀北町第2次総合計画後期基本計画について           | 2  |
| (1) 総合計画について                      | 2  |
| (2) 総合計画の役割                       | 2  |
| (3) 計画の構成と期間                      | 3  |
| (4) 総合計画の将来像と施策体系                 | 4  |
| (5) 重点プロジェクトについて                  | 5  |
| 5. 重点プロジェクトの実績及び目標指標の進捗状況の検証      | 6  |
| (1) 「安全」のまちプロジェクト                 | 6  |
| (2) 「健康」のまちプロジェクト                 | 8  |
| (3) 「活力」のまちプロジェクト                 | 10 |
| (4) 「学び」のまちプロジェクト                 | 12 |
| 6. アンケート結果及び委員の意見・提言に基づく「主要施策」の検証 | 14 |
| (1) 安全・快適のまち部会                    | 14 |
| (2) 健康・福祉のまち部会                    | 16 |
| (3) 産業のまち部会                       | 18 |
| (4) 教育・文化・協働のまち部会                 | 20 |
| 7. 検証後の改善                         | 22 |
| 第2章 主要施策における5段階評価アンケート結果          | 23 |
| (1) 基本目標1 ずっと暮らせる安全・快適なまち         | 23 |
| (2) 基本目標2 やさしさを支え合う健康・福祉のまち       | 25 |
| (3) 基本目標3 魅力と活力ある産業のまち            | 27 |
| (4) 基本目標4 心豊かに夢を育む教育・文化のまち        | 29 |
| (5) 基本目標5 とともに担う参画と協働のまち          | 31 |



# 第1章 評価・検証について

## 1. 実施の目的

紀北町第2次総合計画後期基本計画が、基本構想に基づき適正かつ着実に実施できているかの検証を行うため、紀北町総合計画評価・検証委員会設置要綱第1条に基づき、紀北町総合計画評価・検証委員会を設置して評価・検証を行う。

## 2. 評価・検証の方法

各分野における民間委員20名を委嘱し、令和6年11月に紀北町総合計画評価・検証委員会を開催し、役場側から総合計画の令和4、5年度の重点プロジェクトの実績、目標指標の進捗状況等を、分野毎に分かれた4つの部会（安全・快適のまち部会、健康・福祉のまち部会、産業のまち部会、教育・文化・協働のまち部会）で説明した。

その中で、民間委員からの質疑とそれに対する応答、及び主要施策についての意見を聴取した。また、委員会終了後の令和7年1～2月にかけて委員を対象とした令和4、5年度の主要施策454項目の実績について5段階評価アンケートを実施した。

今後、それらの評価・検証結果を踏まえ、総合計画の施策・事業の見直しや改善を図っていく。

## 3. 評価・検証委員会の開催

|     | 開催日時・事項                                                                                          | 出席者等                                                           |
|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------|
| 第1回 | 令和6年11月19日（火）19時～<br>1. 開会<br>2. 委員の紹介<br>3. 委員長・副委員長の選任<br>4. 総合計画の評価・検証について<br>5. その他<br>6. 閉会 | ・ 民間委員16名（4名欠席）<br>・ 中場委員長（副町長）<br>・ 各課長15名（企画課長含む）<br>・ 事務局4名 |
| 第2回 | 令和6年11月27日（水）19時～<br>1. 開会<br>2. 部会報告・意見交換<br>3. その他<br>4. 閉会                                    | ・ 民間委員15名（5名欠席）<br>・ 中場委員長（副町長）<br>・ 各課長15名（企画課長含む）<br>・ 事務局4名 |

## 4. 紀北町第2次総合計画後期基本計画について

### (1) 総合計画について

本町では、平成28年度に、中長期の展望を持ちつつ、社会情勢の激しい変化の中での確に対応できるよう「紀北町第2次総合計画(基本構想及び前期基本計画)」を策定した。

この総合計画の基本構想では、本町の目指すべき将来像を「みんなが元気! 紀北町～豊かな自然、にぎわいと笑顔があふれるまち～」と定め、その実現に向け、総合的かつ計画的にまちづくりを進めている。

しかし、人口減少や少子高齢化の急速な進行、それに伴う地域産業の衰退、自然災害や新型コロナウイルスなどのリスクに対する安全・安心への備え、情報通信技術の進展など、本町を取り巻く社会・経済情勢は大きく変化し、地方自治体経営のあらゆる分野において大きな影響をもたらしている。

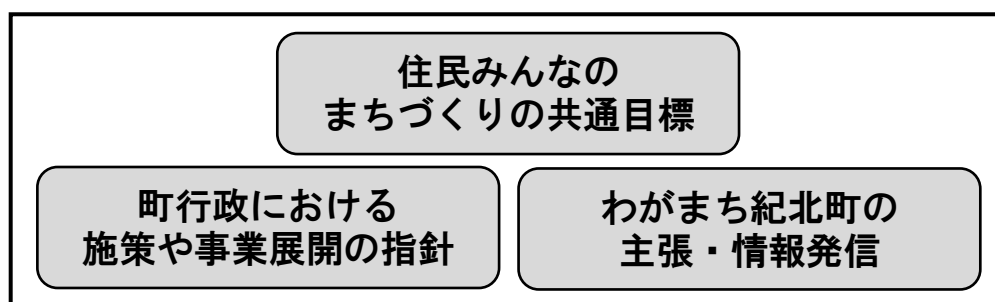
こうした状況の中にあっても、住民の幸せな暮らしを実現し、守り続けていくことが、基礎自治体である本町の責務であり、これまで築き上げてきたものを礎に、持続可能なまちの実現に向け、令和4年度を始期とする第2次総合計画後期基本計画を策定した。

### (2) 総合計画の役割

総合計画とは、まちづくりの総合的な計画として最も上位に位置づけられるもので、総合的かつ計画的な行財政経営を進めていく上で、基本的な指針となる。

総合計画は、すべての行政活動の基本となる最上位計画としての位置づけから、大きく3つの役割を持つ。

#### ▼総合計画の役割



### (3) 計画の構成と期間

紀北町第2次総合計画は、「基本構想」、「基本計画」、「実施計画」で構成し、その内容と期間は次のとおりとなる。

#### ■基本構想

基本構想は、本町の目指すべき将来像とそれを実現するための基本方針や施策の大綱を示し、平成29年度から令和8年度までの10年間を計画期間とする。

#### ■基本計画

基本計画は、基本構想に基づき、その実現を図るために必要な主要施策等を体系的に示す。前期基本計画の計画期間は平成29年度から令和3年度までの5年間、後期基本計画の計画期間は令和4年度から令和8年度の5年間となっている。

#### ■実施計画

実施計画は、基本計画に示した施策を具体的に実施する事業を定めるものであり、事業の優先順位や具体的な事業内容、財源等を示すことにより、予算編成の指針となる。計画期間は3年間として別途策定し、ローリング方式を採用して、毎年度計画の進行管理を行っている。

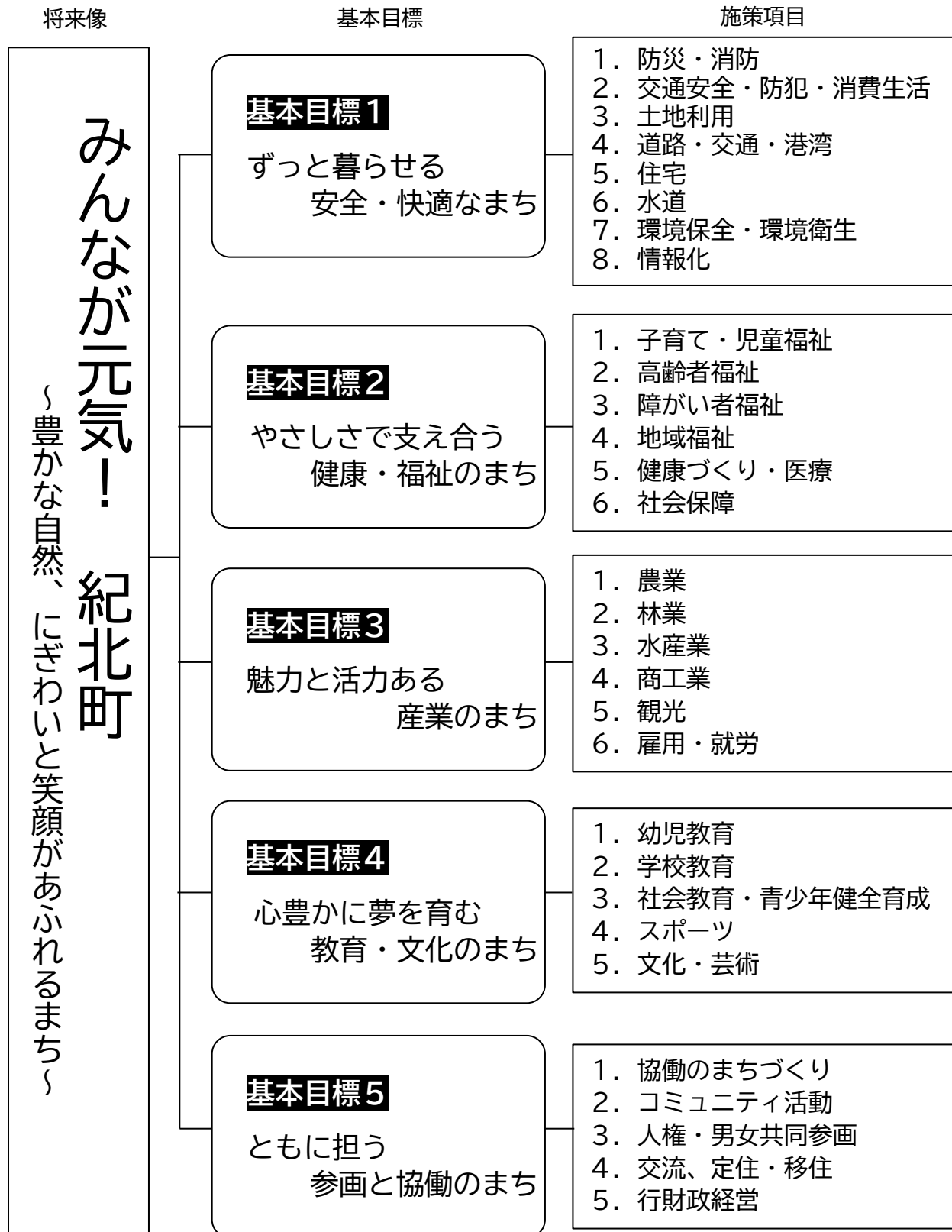
▼紀北町第2次総合計画の構成と期間

| 総合計画の構成 | 計画期間        |             |             |             |             |             |             |             |             |             |
|---------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
|         | H29<br>2017 | H30<br>2018 | R 1<br>2019 | R 2<br>2020 | R 3<br>2021 | R 4<br>2022 | R 5<br>2023 | R 6<br>2024 | R 7<br>2025 | R 8<br>2026 |
| 基本構想    | 10年         |             |             |             |             |             |             |             |             |             |
| 基本計画    | 前期5年        |             |             |             |             | (見直し)       | 後期 5年       |             |             |             |
| 実施計画    | 3年          |             |             | (毎年度見直し)    |             |             |             |             |             |             |

#### (4) 総合計画の将来像と施策体系

紀北町第2次総合計画後期基本計画の将来像と施策体系は次のとおり。

##### ▼紀北町第2次総合計画の将来像と施策体系



## (5) 重点プロジェクトについて

紀北町第2次総合計画後期基本計画では、人口減少への対応、安全・安心な生活の確保、地場産業の活性化など町が直面している大きな課題に対応していく必要があることから、本町の特性・資源を生かした、行政と住民、各種団体との協働により、紀北町らしい特色あるまちづくりを進めていくため、後期基本計画の計画期間（5年間）において、分野横断的な対応等により特に重点的に取り組む重点プロジェクトを設定し、関連する施策・事業の重点的な推進を図る。

### ▼紀北町第2次総合計画後期基本計画での重点プロジェクト

重点プロジェクト

1

## 「安全」のまちづくり

安全・安心を「守り・高める」

重点プロジェクト

2

## 「健康」のまちづくり

健やかな暮らしを「支え・広げる」

重点プロジェクト

3

## 「活力」のまちづくり

魅力とにぎわいを「生かし・創る」

重点プロジェクト

4

## 「学び」のまちづくり

未来の創り手を「つなぎ・育む」

## 5. 重点プロジェクトの実績及び目標指標の進捗状況の検証

### (1) 「安全」のまちプロジェクト

#### 【目標指標】

令和5年度実績における「安全」のまちプロジェクトの目標指標の達成状況は、5項目中2項目が目標値を達成している。

| 指標名                                         | 単位  | 現状値<br>(令和2年度) |     | 令和4年度 | 令和5年度 |
|---------------------------------------------|-----|----------------|-----|-------|-------|
| 防災訓練参加率                                     | %   | 0              | 目標値 | 25    | 25    |
|                                             |     |                | 実績値 | 0     | 19    |
| 消防団と自主防災組織の合同訓練回数                           | 回/年 | 0              | 目標値 | 5     | 5     |
|                                             |     |                | 実績値 | 0     | 1     |
| 木造住宅耐震診断済み件数                                | 件   | 945            | 目標値 | 1,070 | 1,089 |
|                                             |     |                | 実績値 | 1,029 | 1,061 |
| 非常用備蓄品（人口25%に対しての目標値、令和7、8年度は人口30%に対しての目標値） | 日分  | 3.1            | 目標値 | 3.0   | 3.0   |
|                                             |     |                | 実績値 | 3.0   | 3.0   |
| いこかバス利用者数                                   | 人/年 | 2,094          | 目標値 | 2,000 | 2,000 |
|                                             |     |                | 実績値 | 2,572 | 2,169 |

達成していない3項目についての取り組み方針は次のとおり。

|         |                                                                                              |
|---------|----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 項目      | 防災訓練参加率【危機管理課】                                                                               |
| 目標値／実績値 | 令和5年度目標値 25%／令和5年度実績値 19%                                                                    |
| 取り組み方針  | 新型コロナウイルス感染症流行期以降、4年ぶりの開催となったため、参加率の低下につながっている可能性がある。今後は、訓練参加の呼びかけ等を行い、参加率の上昇につながるよう周知をしていく。 |

|         |                                                                                       |
|---------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| 項目      | 消防団と自主防災組織の合同訓練回数【危機管理課】                                                              |
| 目標値／実績値 | 令和5年度目標値 5回／令和5年度実績値 1回                                                               |
| 取り組み方針  | 令和5年度は中州地区で1回実施し、消火栓の取り扱いと放水訓練を実施した。今後も地域の防災の基盤を支える両団体の連携を強化するため、積極的に合同訓練の実施を呼びかけていく。 |

|         |                                                                                                                                      |
|---------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 項目      | 木造住宅耐震診断済み件数【建設課】                                                                                                                    |
| 目標値／実績値 | 令和5年度目標値 1,089件／令和5年度実績値 1,061件                                                                                                      |
| 取り組み方針  | 木造住宅耐震診断については、延べ受診件数が1,000件を超えたこともあり、減少傾向な中、令和5年度は目標値を下回ったものの令和4年度に引き続き促進エリアを設定し、啓発活動を展開した結果、32件の耐震診断を実施することができた。今後もこの取り組みを継続し進めていく。 |

【重点プロジェクトへの提言】

- ①各地区の自主防災会では、備蓄品の期限切れが近くなったら、地域住民に配布している。自分の地区は200世帯ほどだが、地区で備蓄しようとする2～3日分しか備蓄できないため、町や地区からの補助金を増やしてほしい。
- ②伊勢の防災センターでは、期限切れが近い備蓄品を他の地域に提供するため、分けて保管している。町でもそのような管理をすべき。
- ③東日本大震災から13年経過し、備蓄品の入替えが2回あったはずだが、どこも使い切っていないのではないかと。能登半島地震のようなときは要請がなくても余っている備蓄品を提供してもよいのではないかと。
- ④避難訓練の参加人数が減っている。開始時刻も決まっているため、早くから待っている人がいる。実際は雨や夜の場合もあるため、日時を決めてしまう訓練に意味があるのか疑問。
- ⑤道路改良に際し、水道管の耐震化を早急に進めてほしい。
- ⑥道路工事の際は安全対策を合わせて実施できるように、警察の意見を聞いてはどうか。
- ⑦役場本庁横の道路は、毎朝、大人が立って児童の登校を見守っており、車が止まらず、歩行者が止まっている状況。安全なまちづくりのためには子ども目線でのまちづくり、例えば、子どもたちが安全に通学できるような歩道整備が必要。
- ⑧まちづくりの指標に歩道の整備率を設定すべき。
- ⑨相賀コミュニティセンター近くから小学生が出てきて危険なので、近くの電柱にカーブミラーを設置してほしい。
- ⑩相賀幼稚園のお迎えルートは車が急いで通過していくため危険。

## (2)「健康」のまちプロジェクト

### 【目標指標】

令和5年度実績における「健康」のまちプロジェクトの目標指標の達成状況は、5項目中1項目が目標値を達成している。

| 指標名                       | 単位        | 現状値<br>(令和2年度) |     | 令和4年度 | 令和5年度 |
|---------------------------|-----------|----------------|-----|-------|-------|
| 特定健診受診率（国民健康保険）           | %         | 43.8           | 目標値 | 60.0  | 60.0  |
|                           |           |                | 実績値 | 46.1  | 45.7  |
| 特定保健指導終了率（国民健康保険）         | %         | 7.7            | 目標値 | 60.0  | 60.0  |
|                           |           |                | 実績値 | 8.8   | 30.0  |
| 認知症初期集中支援（訪問回数）           | 回<br>(延べ) | 49             | 目標値 | 50    | 50    |
|                           |           |                | 実績値 | 3     | 18    |
| 「ちょい減らし+10チャレンジ」を実施している人数 | 人         | 646            | 目標値 | 735   | 720   |
|                           |           |                | 実績値 | 425   | 402   |
| 健康づくりに自主的に取り組んでいるグループ数    | グループ      | 18             | 目標値 | 12    | 11    |
|                           |           |                | 実績値 | 12    | 13    |

達成していない4項目についての取り組み方針は次のとおり。

| 項目      | 特定健康診査受診率（国民健康保険）〔住民課〕                          |
|---------|-------------------------------------------------|
| 目標値／実績値 | 令和5年度目標値 60%／令和5年度実績値 45.7%                     |
| 取り組み方針  | 特定健診の受診率は年々上昇しているが、効果的な対策を講じないと、今後受診率を上げるのは難しい。 |

| 項目      | 特定保健指導受診率（国民健康保険）〔住民課〕                                                 |
|---------|------------------------------------------------------------------------|
| 目標値／実績値 | 令和5年度目標値 60%／令和5年度実績値 30.0%                                            |
| 取り組み方針  | 令和5年度は積極的な勧誘により数値はかなり上昇する予定。三重県も力を入れている事業で、町としても県平均を超えることを最低目標として取り組む。 |

| 項目      | 認知症初期集中支援（訪問回数）〔福祉保健課〕                                     |
|---------|------------------------------------------------------------|
| 目標値／実績値 | 令和5年度目標値 50回（延べ）／令和5年度実績値 18回（延べ）                          |
| 取り組み方針  | 地域包括センターにおいて対象者の基準を確認し、訪問回数は増加した。引き続き、必要な方への支援ができるよう進めていく。 |

| 項目      | 「ちょい減らし+10チャレンジ」を実施している人数〔福祉保健課〕                                                        |
|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------|
| 目標値／実績値 | 令和5年度目標値 720人／令和5年度実績値 420人                                                             |
| 取り組み方針  | 3か月チャレンジに移行してから、微減で推移している。その中でも、65歳以下の参加割合が増加してしているため、アプリの普及を含め、健康無関心層へのアプローチを一層推進していく。 |

【重点プロジェクトへの提言】

- ①親子教室に参加している母親の間で、健康診査の話題が出ており、今年は受診する人が増えた。
- ②がん検診について、紀北町は無料なので、早期発見のため勧めている。
- ③「あなたの健康生活スタートブック」は見やすくてよい。全般的に網羅されてよくまとめられている。
- ④総合けんしんは待ち時間が短くてよかった。
- ⑤「ちょい減らしプラス 10 チャレンジ」は、毎日記録するのが難しい。
- ⑥健康センターへの交通手段は自動車が多い。尾鷲市から JR を利用する方もいる。通う手段がなくなってやめてしまう人もいる。

### (3)「活力」のまちプロジェクト

#### 【目標指標】

令和5年度実績における「活力」のまちプロジェクトの目標指標の達成状況は、6項目中3項目が目標値を達成している。

| 指標名              | 単位   | 現状値<br>(令和2年度) |     | 令和4年度     | 令和5年度     |
|------------------|------|----------------|-----|-----------|-----------|
| 水産物水揚げ額          | 千円/年 | 1,732,751      | 目標値 | 2,044,988 | 2,049,588 |
|                  |      |                | 実績値 | 1,393,030 | 1,566,479 |
| 尾鷲ヒノキ販売額         | 千円/年 | 51,373         | 目標値 | 62,000    | 64,000    |
|                  |      |                | 実績値 | 109,121   | 96,718    |
| 観光入込客数           | 万人/年 | 102            | 目標値 | 150       | 160       |
|                  |      |                | 実績値 | 119       | 132       |
| スポーツ合宿宿泊数        | 泊/年  | 997            | 目標値 | 4,000     | 4,500     |
|                  |      |                | 実績値 | 1,350     | 2,911     |
| 空き家バンク延成約数       | 件/延  | 75             | 目標値 | 95        | 105       |
|                  |      |                | 実績値 | 106       | 121       |
| 相談窓口を通じた町外からの移住者 | 件/延  | 10             | 目標値 | 12        | 14        |
|                  |      |                | 実績値 | 52        | 68        |

達成していない3項目についての取り組み方針は次のとおり。

| 項目      | 水産物水揚げ額【農林水産課】                                                                                                                                                        |
|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 目標値／実績値 | 令和5年度目標値 2,049,588 千円／令和5年度実績値 1,566,479 千円                                                                                                                           |
| 取り組み方針  | 新型コロナウイルス感染症の拡大の変化により、養殖魚等の売上低迷から回復の兆しが見られ、水揚げ額や養殖取扱額に回復が見られた。引き続きアワビ、マダイ、稚エビ、ヒラメ、カサゴなどの種苗を放流するとともに、放流効果の見込まれる新規魚種の種苗放流を検討するとともに、築いその設置や藻場再生に積極的に取り組み、水産資源の増殖に取り組むたい。 |

| 項目      | 観光入込客数【商工観光課】                                                                                                                            |
|---------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 目標値／実績値 | 令和5年度目標値 160 万人／令和5年度実績値 132 万人                                                                                                          |
| 取り組み方針  | 新型コロナウイルス感染症による影響が軽微になり、きほく燈籠祭の開催やキャンプや釣り、熊野古道散策の来町者が増えたことが原因と考えられる。今後は、熊野古道世界遺産登録 20 周年への取り組みや、体験型観光への取り組み支援、熊野灘臨海公園城ノ浜プールへの誘客等に力を入れたい。 |

| 項目      | スポーツ合宿宿泊数【生涯学習課】                                               |
|---------|----------------------------------------------------------------|
| 目標値／実績値 | 令和5年度目標値 4,500 泊／令和5年度実績値 2,911 泊                              |
| 取り組み方針  | 令和4年度と比較すると 1,561 泊の増となっている。新型コロナウイルスの影響による利用団体の合宿自粛により以前の状況には |

|  |                                                                                                                      |
|--|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  | 達していないが、徐々に増えている。今後さらに利用団体、人数については活発になると思われるが、引き続きホームページでの広報、学校、スポーツ少年団などの団体にパンフレットを送付に加え、都市部（大阪・名古屋等）でのPR活動も検討して行く。 |
|--|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

#### 【重点プロジェクトへの提言】

- ①地元食材と観光を組み合わせたPR活動の具体的な内容を知りたい。
- ②近年、御浜町や大台町など近隣自治体は非常に観光に力を入れている。
- ③役場、商工会、観光協会などの情報を集約し、効率的な情報発信ができる体制を構築すべき。
- ④外国人でも日本で仕事がしたい人はいるので、情報発信が重要。
- ⑤地域行事を観光資源として捉え、後世に残していく必要がある。外国人に向けての周知も考えている。
- ⑥共通の認識を持って取り組むまちづくりのビジョンを示す必要がある。
- ⑦雇用の場の確保、新規就業者の育成については説得力が薄いと思う。
- ⑧産業振興の方向性が不明確。町全体としてのプランが必要。また、プランを実行できる体制の構築も重要。
- ⑨農林水産業、観光業などの異なる分野が連携し、新しい発想で産業を活性化する必要がある。連携により地域特産の掘り起こしが増える。
- ⑩この部会のような異なる分野の人が集まって話し合う場が必要。

#### (4)「学び」のまちプロジェクト

##### 【目標指標】

令和5年度実績における「学び」のまちプロジェクトの目標指標の達成状況は、5項目中2項目が目標値を達成している。

| 指標名                        | 単位  | 現状値<br>(令和2年度) |     | 令和4年度 | 令和5年度 |
|----------------------------|-----|----------------|-----|-------|-------|
| きほくファミラボ閲覧数                | 回/年 | 6,962          | 目標値 | 5,500 | 5,500 |
|                            |     |                | 実績値 | 5,466 | 7,864 |
| 子育て支援センター利用者数              | 人/年 | 805            | 目標値 | 900   | 900   |
|                            |     |                | 実績値 | 1,831 | 1,192 |
| 授業内容がよくわかると回答した児童・生徒の割合    | %   | 93.0           | 目標値 | 90.0  | 90.0  |
|                            |     |                | 実績値 | 83.4  | 85.3  |
| 平日、1日あたり30分以上読書をする児童・生徒の割合 | %   | 22.7           | 目標値 | 35.0  | 35.0  |
|                            |     |                | 実績値 | 20.1  | 22.8  |
| 農林水産業に関する体験学習実施回数          | 回/年 | 20             | 目標値 | 36    | 36    |
|                            |     |                | 実績値 | 25    | 30    |

達成していない3項目についての取り組み方針は次のとおり。

| 項目      | 授業がよくわかると答えた児童生徒の割合【学校教育課】                                                                                                                                                                                                                                      |
|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 目標値／実績値 | 令和5年度目標値 90.0%／令和5年度実績値 85.3%                                                                                                                                                                                                                                   |
| 取り組み方針  | 授業がよくわかると答えた生徒の割合は 80%超で推移して令和5年度は前年度比で 1.9%増加し、目標値には届かなかったものの、実施してきたアンケート調査結果の分析や、これまでの取り組みであった紀州教育支援事務所指導主事や元県教委学力向上アドバイザーを招いての研修、県教委「わかる授業促進授業」を受けての研修、さらに三重大大学院教授を招き、より理論的な分析や授業改善の方法を示唆してもらう研修を行い、紀北町学力向上委員会での各校の取り組みの交流等を通し、授業改善を進めてきた。引き続き取り組みの継続を行っていく。 |

| 項目      | 平日の読書時間が30分以上の児童の割合【学校教育課】                                                                                                                                                                                                               |
|---------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 目標値／実績値 | 令和5年度目標値 35.0%／令和5年度実績値 22.8%                                                                                                                                                                                                            |
| 取り組み方針  | 平日の読書時間が30分以上の児童の割合は、前年度比で 2.7%増加し、目標値には届いていない状況である。読書時間の減少の理由の一つとしてスマートフォンなどによる SNS 使用の増加が調査分析によりわかってきた。目標値達成に向けては、これまでの取り組みのほか、学校において児童生徒が主体となって SNS 利用の抑制のための取り組みを行っていて成果が出てきたと考える。また、引き続き家庭での保護者を巻き込んで一緒に本を読む取り組みも継続していきながら向上に努めていく。 |

|         |                                                                                                                                                         |
|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 項目      | 農林水産業に関する体験学習実施回数〔学校教育課〕                                                                                                                                |
| 目標値／実績値 | 令和５年度目標値 36 回／令和５年度実績値 30 回                                                                                                                             |
| 取り組み方針  | 新型コロナウイルス感染症の影響も少なくなり、新しい生活様式の中で体験学習の実施が可能となってきた。目標値には届かなかったが今後、様々な機関と連携を取りながら体験学習の場の確保に努めていきたい。また、基幹産業である農林水産業の体験学習についても引き続き関係機関と連携を取りながら場の確保に努めていきたい。 |

#### 【重点プロジェクトへの提言】

- ①図書館の蔵書数は基準を満たしているとのことだが、本の入れ替えが必要。古い本は意味がなく、新しい本に入れ替えるべき。特に学校図書館は交付税で予算が確保できるので、予算の増額を検討してほしい。
- ②スマートフォンで読書することは脳に悪影響があるという研究結果があるため、紙媒体での読書習慣を再度根付かせる取り組みが必要。
- ③父母が読書をするかどうかで子どもの学力が変わってくるという話もあるため、読書習慣は重要。
- ④三浦檣良顕彰祭は文化の香りが漂うまちづくりのために今後も継続してほしい。
- ⑤熊野古道語り部をしているが、外国人が増えてきている。語り部を通して英語で案内できる体制を整えてはどうか。
- ⑥熊野古道の登り口に設置されている杖は、地元の学生に作ってもらい、PR することで、持ち帰る人が減るのではないかな。
- ⑦相賀小学校の児童が馬越峠に設置した看板のように、子どもたちが誇りを持って説明できるものがあるとよい。
- ⑧103 万円の壁が撤廃されると共働きの増え、放課後児童クラブの需要が高まる。
- ⑨給食の残食が多い。魚料理、特にサバの味噌煮は残が多い。味付けを変えるなどの工夫をしてほしい。
- ⑩中学生はダイエットを気にして白ご飯を残す子が多い。メニューによって残食量が違うので、学校で調査の上メニューの検討をしてほしい。
- ⑪最近では子どものアレルギーが増えているので、調理器具や食器を分ける必要があり、準備が大変。
- ⑫新しい事業として機の整備はよい取り組み。地元産材を使用しているとのことなので、機の製造工程を学習に活かしてほしい。
- ⑬スポーツで将来の大谷選手を育成するプロジェクトはないのか。
- ⑭特別児童扶養手当の申請は保護者の意志なので、認定を受けた児童には加配がつくが、そうでない児童にも予算的な課題はあると思うが、介助員の配置をお願いしたい。
- ⑮発達障害と判断される児童が増加している。個性として受け入れる意識の醸成ができる場づくりをしてもらいたい。
- ⑯課外活動を通じた交流は重要。課外活動での交流による孤立防止と個性を生かすためのサポートが必要。

## 6. アンケート結果及び委員の意見・提言に基づく「主要施策」の検証

### (1) 安全・快適のまち部会

評価対象の施策項目は、総合計画基本目標1の「1. 防災・消防」、「2. 交通安全・防犯・消費生活」、「3. 土地利用」、「4. 道路・交通・港湾」、「5. 住宅」、「6. 水道」、「7 環境保全・環境衛生」、「8. 情報化」の8項目となっている。

#### 【評価の高い項目】

総合計画基本目標1でA：高く評価できる、B：やや評価できるの合計割合が最も多い項目は「6. 水道」(62.5%)となっており、次いで「1. 防災・消防」(60.0%)、「5. 住宅」(56.7%)、「2. 交通安全・防犯・消費生活」(53.3%)、「環境保全・環境衛生」(53.1%)が続く。

#### 【評価の低い項目】

D：あまり評価できない、E：まったく評価できないの合計割合が最も多い項目は「3. 土地利用」(6.7%)となっており、次いで「5. 住宅」(3.3%)、「1. 防災・消防」(3.1%)が続く。また、「2. 交通安全・防犯・消費生活」、「6. 水道」、「8. 情報化」についてはD、E評価はなかった。

| D、E 評価のあった主な取り組み                                                                                                                                                                    |                                                                                                                 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・避難場所及び避難路等の整備・管理</li><li>・食料・飲料水・備蓄品等の確保</li><li>・自主防災組織の活動支援</li><li>・防災リーダーの育成</li><li>・消防団員の確保</li><li>・土地利用関連計画や関連法、条例等についての周知</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>・バス路線の維持</li><li>・危険性のある空き家の所有者等へ適正管理の指導等</li><li>・銚子川周辺などの環境保全</li></ul> |

#### 【検証】

この部会の担当分野、総合計画基本目標1「ずっと暮らせる安全・快適なまち」のアンケート調査結果は、他の分野と比較してC：どちらともいえないの回答割合が多い傾向がみられた。また、防災全般に関して、重点プロジェクトへの提言においても、能登半島地震や集中豪雨等の災害が発生しており、避難所、避難路や備蓄品についての対応をご指摘いただいた。また、消防団員の確保についての提言、全般的にマンネリ化していて、危機感が薄れているとの意見もあり、個々の項目において検討を行い、改善に繋げる。

【主要施策への主な意見】

|                                                                                                                  |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 防災・消防                                                                                                            |
| ①消防団の新入団員は年間８～１０名程度で、訓練報酬も安く魅力がない。<br>②危険なため家族が反対することもあり、人材確保が難しい。活動費の増額を含め、魅力的な活動を行い、活動に対価を支払えるような予算立てを検討してほしい。 |
| 交通安全・防犯・消費生活                                                                                                     |
| ①特殊詐欺被害が増えているが、ひとり暮らしの高齢者が倒れていたり亡くなったりするケースも増えているため、安否確認の方法を検討してほしい。新聞が溜まっていたりする場合は、安否確認が必要。                     |
| その他                                                                                                              |
| ①この町に住む多くの人が夢・希望を持てずにいる。それぞれの施策も大事ではあるが、幸せ・夢・希望を持てるような取り組みが大切だと思う。                                               |

|                                                                                               |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 他の部会からの意見                                                                                     |
| ①南海トラフ地震の発生確率が 70～80%で 30 年以内に発生すると予測されているので、海野地区、古里地区の避難場所として、廃校になった海野小学校を地域防災拠点として活用はできないか。 |

## (2) 健康・福祉のまち部会

評価対象の施策項目は総合計画基本目標2の「1. 子育て・児童福祉」、「2. 高齢者福祉」、「3. 障がい者福祉」、「4. 地域福祉」、「5. 健康づくり・医療」、「6. 社会保障」の6項目となっている。

### 【評価の高い項目】

総合計画基本目標2でA：高く評価できる、B：やや評価できるの合計割合が最も多い項目は「2. 高齢者福祉」(82.1%)となっており、次いで「4. 地域福祉」(81.5%)、「5. 健康づくり・医療」(77.5%)が続き、最も低い「6. 社会保障」でも73.3%と7割を超え、全体的な評価が高くなっている。

### 【評価の低い項目】

D：あまり評価できない、E：まったく評価できないの合計割合が最も多い項目は「2. 高齢者福祉」(3.2%)となっており、次いで「4. 地域福祉」(3.1%)、「3. 障がい者福祉」(2.0%)が続く。また、「5. 健康づくり・医療」についてはD、E評価はなかった。

| D、E 評価のあった主な取り組み                                                                                                                  |                                                                                                                          |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ 保育施設の充実</li><li>・ 配食サービスの実施</li><li>・ 気軽に集える場（サロン、集いの場）の充実</li><li>・ 町営老人ホームの整備</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 制度の周知</li><li>・ 成年後見制度の利用促進</li><li>・ 中核機関の設置検討</li><li>・ 介護保険事業の適正な運営</li></ul> |

### 【検証】

この部会の担当分野、総合計画基本目標2「やさしさに支え合う健康・福祉のまち」のアンケート調査結果は、高評価基準のA、B評価が多く、総じて評価が高かった。

委員提言として、目標提示にとどまらず、具体的な施策がどのように進んでいるのかの検証が必要ではないか。本人・家庭の個別課題としての位置づけでなく、社会全体の課題として複数課での検証を進めてほしい。

福祉分野の項目をはじめ全体的に評価が高い分野であるが、意見を踏まえての現状の取り組みの確認、検討を行い改善につなげる。

【主要施策への主な意見】

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 子育て・児童福祉                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| <p>①子育て支援センターの利用者減少対策として、産後ヨガは効果があり、継続して実施してほしい。参加者は体を動かしたいという思いが強い。</p> <p>②雨の日の子どもの遊び場がない。相賀の児童公園も管理状態があまりよくないため遊びに行きづらい。小学校には小さい子の遊具と言えるほどのものはない。</p> <p>③遠足で種まき権兵衛の里に行くが、いつもきれいに管理されていて使いやすい。</p> <p>④第3子以降の保育料無償化はありがたい。無料なので入園使用する人はいる。コロナ補助金で全員無償化の年は入園者が増えた。副食費も無償化も助かっている。</p> <p>⑤0歳～2歳児の保育料が無料になったらいいという声もある。</p> <p>⑥子どもを保育園に入れたくても、働くところがないという人が多い。</p> |
| 高齢者福祉                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| <p>①健康センターの利用だけでなく、高齢者が外出したり、人と話をする機会を増やしたりすることがフレイル予防につながる。</p> <p>②高齢者のEスポーツは女性の参加者が多い。結果はすぐに出ないかもしれないが、健康イベントは継続していくことが必要。</p>                                                                                                                                                                                                                                    |
| 健康づくり・医療                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| <p>①健康関係のイベントは、参加人数は少なくとも、健康意識向上のため継続することに意義がある。また、参加者からの口コミで健康センターの利用につながることもある。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 他の部会からの意見                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| <p>①「いこか健診」は継続してほしいが、70歳以上は自分で申し込みが必要なため、申し込みできない人がいる。</p> <p>②子どもの見守り隊は機能しているが、一人暮らしの高齢者の見守りも必要。</p> <p>③「ちょい減らしプラス10」は、以前のような1年間を通したポイント制の方がよかった。</p>                                                                                                                                                                                                              |

### (3) 産業のまち部会

評価対象の施策項目は総合計画基本目標3の「1. 農業」、「2. 林業」、「3. 水産業」、「4. 商工業」、「5. 観光」、「6. 雇用・就労」の6項目となっている。

#### 【評価の高い項目】

総合計画基本目標3でA：高く評価できる、B：やや評価できるの合計割合が最も多い項目は「4. 商工業」(67.5%)となっており、次いで「2. 林業」(67.2%)、「6. 雇用・就労」(65.0%)、「3. 水産業」(60.2%)が続く。

#### 【評価の低い項目】

D：あまり評価できない、E：まったく評価できないの合計割合が最も多い項目は「5. 観光」(5.3%)となっており、次いで「4. 商工業」(2.5%)、「3. 水産業」(0.9%)が続く。また、「1. 農業」、「2. 林業」、「6. 雇用・就労」についてはD、E評価はなかった。

| D、E 評価のあった主な取り組み                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・水産物のブランド化</li><li>・きいながしま港市などの物販関連事業の支援</li><li>・古道の整備と守る会など後継者の育成</li><li>・銚子川流域の交流施設・資源の整備</li><li>・生態系・環境を学ぶ環境学習の実施</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>・特産品・土産品の開発</li><li>・海の幸・山の幸を素材にしたオリジナル料理の開発</li><li>・販売ラベル等の統一化・特徴化</li><li>・町内観光拠点等への2次交通の確保</li></ul> |

#### 【検証】

この部会の担当分野、総合計画基本目標3「魅力と活力ある産業のまち」では、A評価は「2. 林業」(46.9%)、「4. 商工業」(47.5%)、「6. 雇用・就労」(50.0%)で高評価を受けているが、「5. 観光」では、A評価が16.7%にとどまり、観光に関する評価が低い。また、町、事業者、商工会、観光協会の連携、異業種間の連携が必要といったご指摘もあり、施策・事業を実施する上で、特に民間関係団体とのつながりも大きい分野であることから、行政と団体との連携を密にし、主要施策の実施及び各目標指標の達成のため、協力を仰ぎながら取り組みを進めることが必要と考える。

【主要施策への主な意見】

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 林業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| <p>①ヒノキの空間づくりに森林環境譲与税を活用、また、UJ ターン就職者、インターン生、地域おこし協力隊向けにもヒノキを活用した住まいを整備してもらいたい。</p> <p>②紀北町ではアクセスのよくない山林での伐採跡地が増えている。森林組合でも再造林を行っているが、町として対応の検討が必要。</p> <p>③森林組合には山林譲渡の問い合わせが多く、小規模山林の集約が必要。譲渡、寄付などには境界明確化が必要だが時間がかかるので、放棄等の施策の検討が必要。</p> <p>④紀北町の産業の数値が森林組合分のみで表示されている。地域全体の把握が必要。</p> <p>⑤森林環境譲与税を活用したインターン受け入れ事業があり、学生インターンが多いため助かっている。また、山林への補助にも活用されている。</p> <p>⑥林道管理について町に移管したい。山林所有者の利用の範囲を超えて管理を求められている箇所がある。補助対象になりにくいいため何とかしてほしい。</p> <p>⑦地域で外来種のススキの繁茂が増えており、町としての対策が必要。</p> <p>⑧林業の伐採は機械化が進んでいるが、急斜面での作業や植林は人手が必要なため、町と雇用促進に取り組んでいるが、仕事量の確保も必要。</p> <p>⑨森林環境譲与税を利用した安全装備や講習費用の負担はありがたい。</p> <p>⑩林業と福祉の連携事業が始まっているが、福祉関係者には設備費用の補助がないので、サポートする仕組みが欲しい。</p> |
| 水産業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| <p>①水産業の将来は、水温の変化や藻場の減少により厳しい。</p> <p>②水産業においても新しい技術を取り入れるなど異業種との連携が重要。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 商工業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| <p>①外国人労働者を受け入れるには、地域で働きやすい環境整備が必要。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 観光                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| <p>①祭りの維持が困難になっており、町の観光資源として活用し、商工会や観光協会にも協力を求める等、体制を見直す必要がある。</p> <p>②イベントスタッフはボランティアが多いことから、開催時の責任の所在を明確にする必要がある。</p> <p>③2次交通にライドシェアや自動運転を活用してはどうか。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 雇用・就労                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| <p>①新規企業の立地促進・支援について、金銭的な支援を検討していただきたい。</p> <p>②空き家バンクの登録物件は事業用の土地にしようとする、利用しづらいことがある。</p> <p>③新規事業のために空き家を2軒解体したら、300万円かった。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| その他                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| <p>①自分たち、子どもたちが住み続けたいと思うような、わかりやすい、将来に希望や夢の持てる総合計画をつくっていただきたい。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |

#### (4) 教育・文化・協働のまち部会

評価対象の施策項目は総合計画基本目標4の「1. 幼児教育」、「2. 学校教育」、「3. 社会教育・青少年健全育成」、「4. スポーツ」、「5. 文化・芸術」、総合計画基本目標5の「1. 協働のまちづくり」、「2. コミュニティ活動」、「3. 人権・男女共同参画」、「4. 交流、定住・移住」、「5. 行財政経営」の10項目

##### 【評価の高い項目】

総合計画基本目標4でA：高く評価できる、B：やや評価できるの回答割合が最も多い項目は「2. 学校教育」(96.4%)となっており、次いで「1. 幼児教育」(95.0%)、「4. スポーツ」(92.2%)が続き、これらの項目では高評価が9割を超える。

総合計画基本目標5でA：高く評価できる、B：やや評価できるの回答割合が最も多い項目は「5. 行財政経営」(96.5%)となっており、次いで「1. 協働のまちづくり」(85.0%)、「3. 人権・男女共同参画」(83.6%)が続く。

##### 【評価の低い項目】

総合計画基本目標4でD：あまり評価できない、E：まったく評価できないの回答があった項目は「5. 文化・芸術」(9.1%)のみとなっているが、E評価の回答があった唯一の項目であり、文化財や埋蔵文化財の適切な保存、歴史資料や文化財の収集・調査研究など文化財関連の事業でE評価となっている。それ以外の項目ではD、E評価はなかった。

| D、E評価のあった主な取り組み                                   |                                                          |
|---------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|
| ・芸術・文化団体等の活動及び芸術・文化展や芸能大会等の開催支援<br>・児童生徒の郷土学習での活用 | ・伝統芸能や伝統行事等への支援<br>・文化財や埋蔵文化財の適切な保存<br>・歴史資料や文化財の収集・調査研究 |

総合計画基本目標5でD：あまり評価できない、E：まったく評価できないの回答があった項目は「4. 交流、定住・移住」(6.2%)となっており、次いで「5. 行財政経営」(1.2%)が続く。「4. 交流、定住・移住」での低評価の事業としては、友好都市交流、町内在住の外国人との交流、国際交流などとなっている。また、「1. 協働のまちづくり」、「2. コミュニティ活動」、「3. 人権・男女共同参画」についてはD、E評価はなかった。

| D、E評価のあった主な取り組み                                       |                             |
|-------------------------------------------------------|-----------------------------|
| ・四條畷市との友好都市交流<br>・町内在住の外国人との交流機会の拡大<br>・国際的視野を持つ人材の育成 | ・国際交流団体の支援<br>・公共施設の適切な維持管理 |

### 【検証】

この部会の担当分野、総合計画基本目標4「心豊かに夢を育む教育・文化のまち」では、「1. 幼児教育」、「2. 学校教育」の評価が全体的に高く、「5. 文化・芸術」の文化財以外ではD、E評価はない。総合計画基本目標5「ともに担う参画と協働のまち」では、D、E評価は少ないものの、「2. 交流、定住・移住」での交流に関する事業への評価が低い。

### 【主要施策への主な意見】

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 学校教育                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| ①学校のクラブ活動は昔と比べて種類が減っている。<br>②指導者によってクラブ活動は変わるので、町内の中学校にすごい指導者を呼ぶのはどうか。                                                                                                                                                                                                                                     |
| 社会教育                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| ①図書館は津波浸水域に近いので、高台に移転を検討してほしい。                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 文化・芸術                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| ①文化財の保護は地権者の理解が重要。NPO法人等の管理団体を作り、地権者と交渉して保護を訴えていく必要がある。<br>②昔の行事は、地域住民が世代を超えて交流できる場があったが、今はなくなってきている。子どもの見守りという点でも課題がある。<br>③伝統芸能や伝統行事への支援を継続してほしい。島勝浦のかます祭りは山車を改修したのに、踊り手がいないため中断している。ハードだけでなく、ソフト面での支援も必要。<br>④屋外の石仏等は腐食が進んでおり、文化財の保護が必要。<br>⑤盆踊りの曲が地域によって異なり、理由もある。そのような古い歴史も大切にしていって、無形遺産も次世代に伝えていくべき。 |
| その他                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| ①地域住民と観光客の交流は、観光客にとってよい思い出になる。                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| コミュニティ活動                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| ①高齢化が進む町において、地域における交流や情報を共有した自治会組織が大きな役割を担う。自治会組織の必要性について再認識していただきたい。                                                                                                                                                                                                                                      |

## 7. 検証後の改善

---

PDCA サイクルにおける C（チェック）として実施した今回の評価・検証委員会の開催と、委員アンケートであるが、上記の各部会における評価・検証結果については、各担当課と今回の結果を共有し、現在の取り組み内容と今後の計画の確認を行うとともに、改善点が見つかった場合は、具体的な改善方法や手段について検討を行う。

また、外部委員の評価を受けることと並び、自己評価をすることも大事であり、そうすることで外部評価と内部評価の相違点が明らかになる事、また、町は様々な施策に取り組んでいるが、それらの取り組みを町民に周知するための情報発信が大変重要であるとの意見もあり、それらを踏まえて現在の取り組みの確認と検討を行い、改善につなげていく。

加えて、委員より目標指標の数値設定について、施策の効果が客観的に測定できるものが望ましいとの指摘もあることから、よりわかりやすい指標設定も必要と考えられる。

さらに、次の段階では上記の改善方法や手段について、総合計画の重点プロジェクトのテーマの実現を目標とする全庁組織である総合計画重点プロジェクト会議及びグループ会議において協議・検討を行い、A（アクト）として諸施策・事業の改善の実施に取り組む。

## 第2章 主要施策における5段階評価アンケート結果

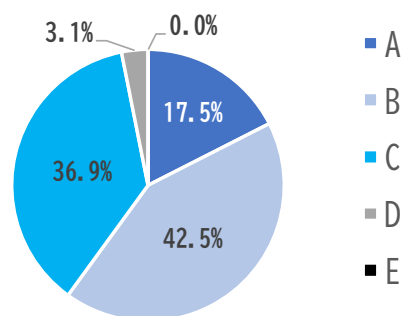
### (1) 基本目標1 ずっと暮らせる安全・快適なまち

| 施策項目            |
|-----------------|
| 1. 防災・消防        |
| 2. 交通安全・防犯・消費生活 |
| 3. 土地利用         |
| 4. 道路・交通・港湾     |
| 5. 住宅           |
| 6. 水道           |
| 7. 環境保全・環境衛生    |
| 8. 情報化          |

| 評価の高い項目                                                                 |
|-------------------------------------------------------------------------|
| A：高く評価できる、B：やや評価できるの合計割合が最も多い項目は「6. 水道」(62.5%)、次いで「1. 防災・消防」(60.0%)。    |
| 評価の低い項目                                                                 |
| D：あまり評価できない、E：まったく評価できないの合計割合が最も多い項目は、「3. 土地利用」(6.7%)、次いで「5. 住宅」(3.3%)。 |

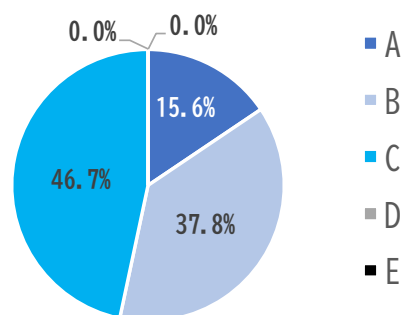
#### 1. 防災・消防

| 評価          | 件数  | %     |
|-------------|-----|-------|
| A：高く評価できる   | 28  | 17.5% |
| B：やや評価できる   | 68  | 42.5% |
| C：どちらともいえない | 59  | 36.9% |
| D：あまり評価できない | 5   | 3.1%  |
| E：全く評価できない  | 0   | 0.0%  |
| 計（無回答除く）    | 160 |       |



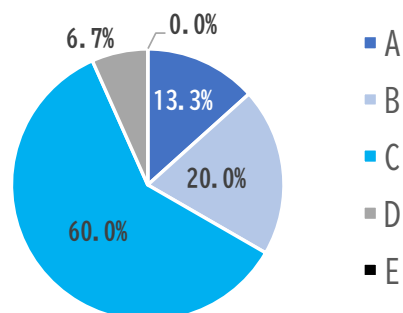
#### 2. 交通安全・防犯・消費生活

| 評価          | 件数 | %     |
|-------------|----|-------|
| A：高く評価できる   | 7  | 15.6% |
| B：やや評価できる   | 17 | 37.8% |
| C：どちらともいえない | 21 | 46.7% |
| D：あまり評価できない | 0  | 0.0%  |
| E：全く評価できない  | 0  | 0.0%  |
| 計（無回答除く）    | 45 |       |



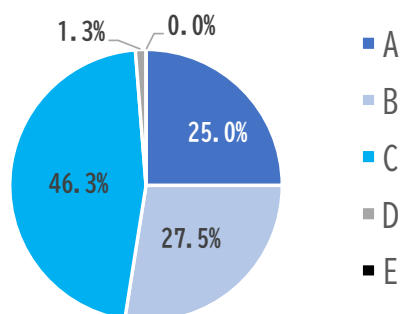
#### 3. 土地利用

| 評価          | 件数 | %     |
|-------------|----|-------|
| A：高く評価できる   | 2  | 13.3% |
| B：やや評価できる   | 3  | 20.0% |
| C：どちらともいえない | 9  | 60.0% |
| D：あまり評価できない | 1  | 6.7%  |
| E：全く評価できない  | 0  | 0.0%  |
| 計（無回答除く）    | 15 |       |



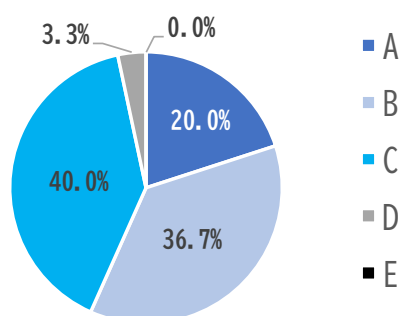
#### 4. 道路・交通・港湾

| 評価          | 件数 | %     |
|-------------|----|-------|
| A：高く評価できる   | 20 | 25.0% |
| B：やや評価できる   | 22 | 27.5% |
| C：どちらともいえない | 37 | 46.3% |
| D：あまり評価できない | 1  | 1.3%  |
| E：全く評価できない  | 0  | 0.0%  |
| 計（無回答除く）    | 80 |       |



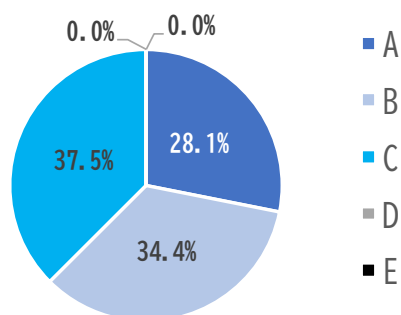
#### 5. 住宅

| 評価          | 件数 | %     |
|-------------|----|-------|
| A：高く評価できる   | 6  | 20.0% |
| B：やや評価できる   | 11 | 36.7% |
| C：どちらともいえない | 12 | 40.0% |
| D：あまり評価できない | 1  | 3.3%  |
| E：全く評価できない  | 0  | 0.0%  |
| 計（無回答除く）    | 30 |       |



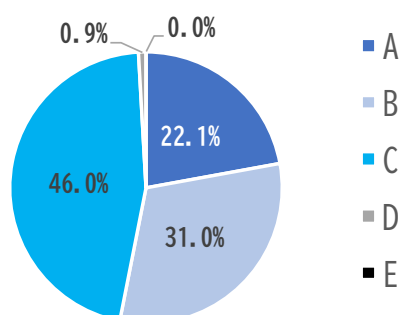
#### 6. 水道

| 評価          | 件数 | %     |
|-------------|----|-------|
| A：高く評価できる   | 9  | 28.1% |
| B：やや評価できる   | 11 | 34.4% |
| C：どちらともいえない | 12 | 37.5% |
| D：あまり評価できない | 0  | 0.0%  |
| E：全く評価できない  | 0  | 0.0%  |
| 計（無回答除く）    | 32 |       |



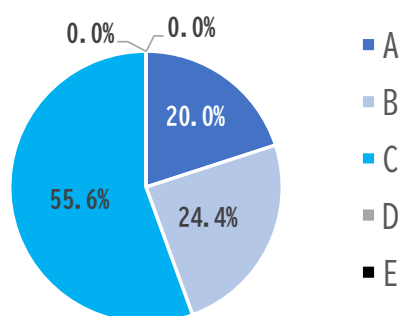
#### 7. 環境保全・環境衛生

| 評価          | 件数  | %     |
|-------------|-----|-------|
| A：高く評価できる   | 25  | 22.1% |
| B：やや評価できる   | 35  | 31.0% |
| C：どちらともいえない | 52  | 46.0% |
| D：あまり評価できない | 1   | 0.9%  |
| E：全く評価できない  | 0   | 0.0%  |
| 計（無回答除く）    | 113 |       |



#### 8. 情報化

| 評価          | 件数 | %     |
|-------------|----|-------|
| A：高く評価できる   | 9  | 20.0% |
| B：やや評価できる   | 11 | 24.4% |
| C：どちらともいえない | 25 | 55.6% |
| D：あまり評価できない | 0  | 0.0%  |
| E：全く評価できない  | 0  | 0.0%  |
| 計（無回答除く）    | 45 |       |



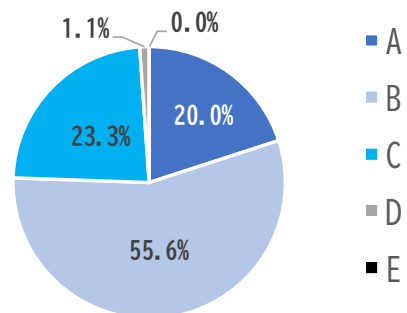
## (2) 基本目標2 やさしさに支え合う健康・福祉のまち

| 施策項目        |
|-------------|
| 1. 子育て・児童福祉 |
| 2. 高齢者福祉    |
| 3. 障がい者福祉   |
| 4. 地域福祉     |
| 5. 健康づくり・医療 |
| 6. 社会保障     |

| 評価の高い項目                                                                  |
|--------------------------------------------------------------------------|
| A：高く評価できる、B：やや評価できるの合計割合が最も多い項目は「2. 高齢者福祉」（82.1%）、次いで「4. 地域福祉」（81.5%）。   |
| 評価の低い項目                                                                  |
| D：余り評価できない、E：まったく評価できないの合計割合が最も多い項目は「2. 高齢者福祉」（3.2%）、次いで「4. 地域福祉」（3.1%）。 |

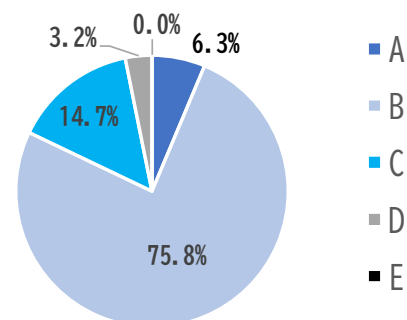
### 1. 子育て・児童福祉

| 評価          | 件数 | %     |
|-------------|----|-------|
| A：高く評価できる   | 18 | 20.0% |
| B：やや評価できる   | 50 | 55.6% |
| C：どちらともいえない | 21 | 23.3% |
| D：あまり評価できない | 1  | 1.1%  |
| E：全く評価できない  | 0  | 0.0%  |
| 計（無回答除く）    | 90 |       |



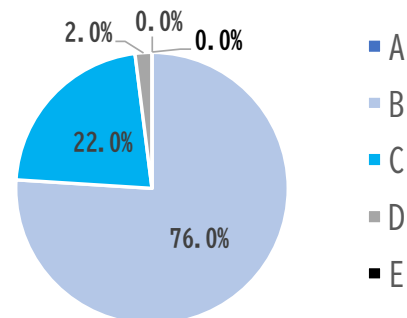
### 2. 高齢者福祉

| 評価          | 件数 | %     |
|-------------|----|-------|
| A：高く評価できる   | 6  | 6.3%  |
| B：やや評価できる   | 72 | 75.8% |
| C：どちらともいえない | 14 | 14.7% |
| D：あまり評価できない | 3  | 3.2%  |
| E：全く評価できない  | 0  | 0.0%  |
| 計（無回答除く）    | 95 |       |



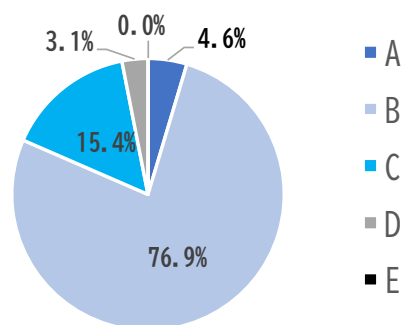
### 3. 障がい者福祉

| 評価          | 件数 | %     |
|-------------|----|-------|
| A：高く評価できる   | 0  | 0.0%  |
| B：やや評価できる   | 38 | 76.0% |
| C：どちらともいえない | 11 | 22.0% |
| D：あまり評価できない | 1  | 2.0%  |
| E：全く評価できない  | 0  | 0.0%  |
| 計（無回答除く）    | 50 |       |



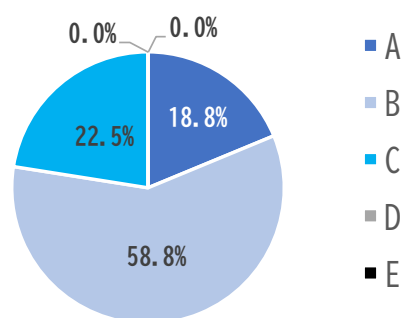
#### 4. 地域福祉

| 評価          | 件数 | %     |
|-------------|----|-------|
| A：高く評価できる   | 3  | 4.6%  |
| B：やや評価できる   | 50 | 76.9% |
| C：どちらともいえない | 10 | 15.4% |
| D：あまり評価できない | 2  | 3.1%  |
| E：全く評価できない  | 0  | 0.0%  |
| 計（無回答除く）    | 65 |       |



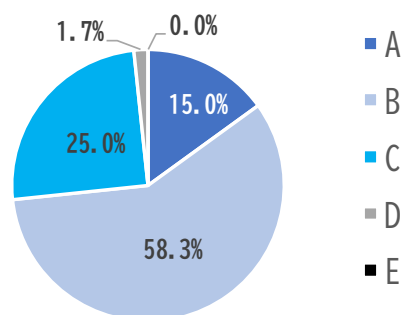
#### 5. 健康づくり・医療

| 評価          | 件数 | %     |
|-------------|----|-------|
| A：高く評価できる   | 15 | 18.8% |
| B：やや評価できる   | 47 | 58.8% |
| C：どちらともいえない | 18 | 22.5% |
| D：あまり評価できない | 0  | 0.0%  |
| E：全く評価できない  | 0  | 0.0%  |
| 計（無回答除く）    | 80 |       |



#### 6. 社会保障

| 評価          | 件数 | %     |
|-------------|----|-------|
| A：高く評価できる   | 9  | 15.0% |
| B：やや評価できる   | 35 | 58.3% |
| C：どちらともいえない | 15 | 25.0% |
| D：あまり評価できない | 1  | 1.7%  |
| E：全く評価できない  | 0  | 0.0%  |
| 計（無回答除く）    | 60 |       |



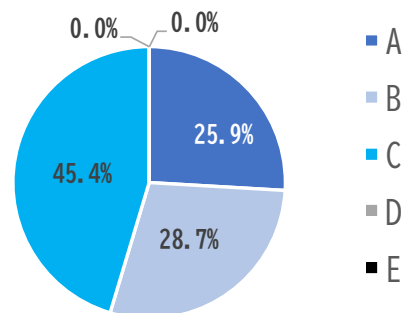
### (3) 基本目標3 魅力と活力ある産業のまち

| 施策項目     |
|----------|
| 1. 農業    |
| 2. 林業    |
| 3. 水産業   |
| 4. 商工業   |
| 5. 観光    |
| 6. 雇用・就労 |

| 評価の高い項目                                                               |
|-----------------------------------------------------------------------|
| A：高く評価できる、B：やや評価できるの合計割合が最も多い項目は「4. 商工業」（67.5%）、次いで「2. 林業」（67.2%）。    |
| 評価の低い項目                                                               |
| D：あまり評価できない、E：まったく評価できないの合計割合が最も多い項目は「5. 観光」（5.3%）、次いで「4. 商工業」（2.5%）。 |

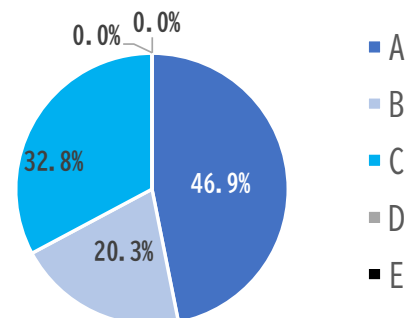
#### 1. 農業

| 評価          | 件数  | %     |
|-------------|-----|-------|
| A：高く評価できる   | 28  | 25.9% |
| B：やや評価できる   | 31  | 28.7% |
| C：どちらともいえない | 49  | 45.4% |
| D：あまり評価できない | 0   | 0.0%  |
| E：全く評価できない  | 0   | 0.0%  |
| 計（無回答除く）    | 108 |       |



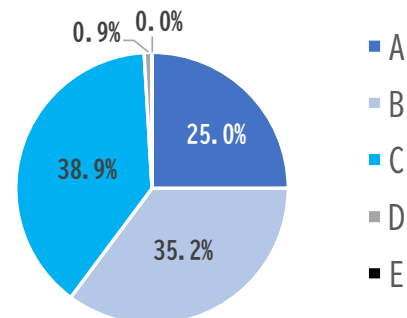
#### 2. 林業

| 評価          | 件数 | %     |
|-------------|----|-------|
| A：高く評価できる   | 30 | 46.9% |
| B：やや評価できる   | 13 | 20.3% |
| C：どちらともいえない | 21 | 32.8% |
| D：あまり評価できない | 0  | 0.0%  |
| E：全く評価できない  | 0  | 0.0%  |
| 計（無回答除く）    | 64 |       |



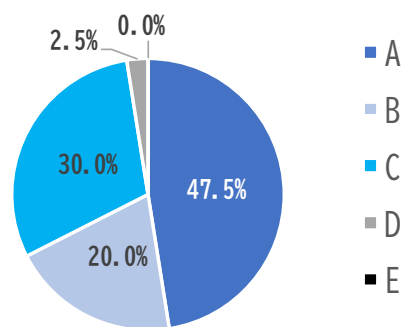
#### 3. 水産業

| 評価          | 件数  | %     |
|-------------|-----|-------|
| A：高く評価できる   | 27  | 25.0% |
| B：やや評価できる   | 38  | 35.2% |
| C：どちらともいえない | 42  | 38.9% |
| D：あまり評価できない | 1   | 0.9%  |
| E：全く評価できない  | 0   | 0.0%  |
| 計（無回答除く）    | 108 |       |



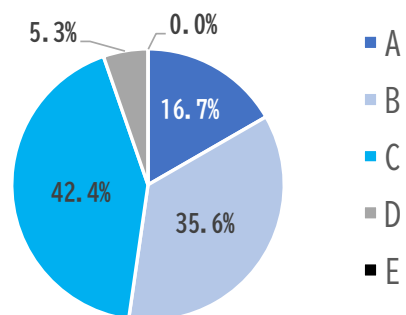
#### 4. 商工業

| 評価          | 件数 | %     |
|-------------|----|-------|
| A：高く評価できる   | 19 | 47.5% |
| B：やや評価できる   | 8  | 20.0% |
| C：どちらともいえない | 12 | 30.0% |
| D：あまり評価できない | 1  | 2.5%  |
| E：全く評価できない  | 0  | 0.0%  |
| 計（無回答除く）    | 40 |       |



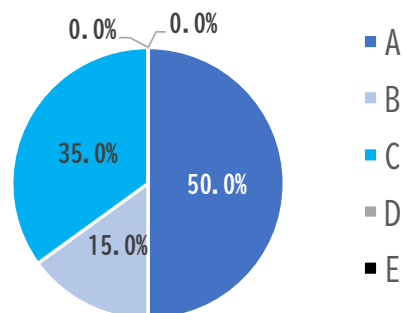
#### 5. 観光

| 評価          | 件数  | %     |
|-------------|-----|-------|
| A：高く評価できる   | 22  | 16.7% |
| B：やや評価できる   | 47  | 35.6% |
| C：どちらともいえない | 56  | 42.4% |
| D：あまり評価できない | 7   | 5.3%  |
| E：全く評価できない  | 0   | 0.0%  |
| 計（無回答除く）    | 132 |       |



#### 6. 雇用・就労

| 評価          | 件数 | %     |
|-------------|----|-------|
| A：高く評価できる   | 20 | 50.0% |
| B：やや評価できる   | 6  | 15.0% |
| C：どちらともいえない | 14 | 35.0% |
| D：あまり評価できない | 0  | 0.0%  |
| E：全く評価できない  | 0  | 0.0%  |
| 計（無回答除く）    | 40 |       |



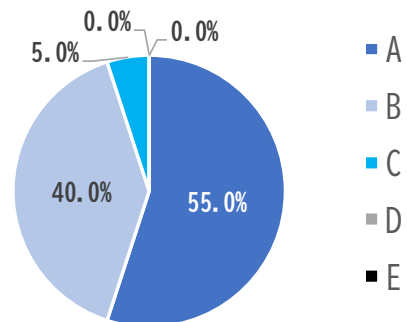
#### (4) 基本目標4 心豊かに夢を育む教育・文化のまち

| 施策項目            |
|-----------------|
| 1. 幼児教育         |
| 2. 学校教育         |
| 3. 社会教育・青少年健全育成 |
| 4. スポーツ         |
| 5. 文化・芸術        |

| 評価の高い項目                                                                  |
|--------------------------------------------------------------------------|
| A：高く評価できる、B：やや評価できるの合計割合が最も多い項目は「2. 学校教育」(96.4%)、次いで「1. 幼児教育」(95.0%)。    |
| 評価の低い項目                                                                  |
| D：あまり評価できない、E：まったく評価できないの合計割合が最も多い項目は「5. 文化・芸術」(9.1%)で、それ以外の項目はD、Eの評価なし。 |

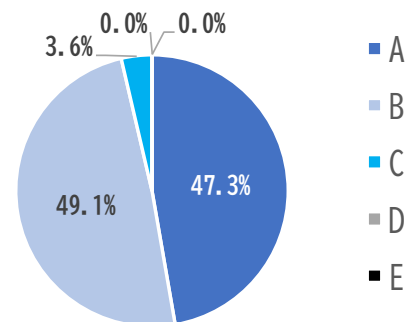
##### 1. 幼児教育

| 評価          | 件数 | %     |
|-------------|----|-------|
| A：高く評価できる   | 22 | 55.0% |
| B：やや評価できる   | 16 | 40.0% |
| C：どちらともいえない | 2  | 5.0%  |
| D：あまり評価できない | 0  | 0.0%  |
| E：全く評価できない  | 0  | 0.0%  |
| 計（無回答除く）    | 40 |       |



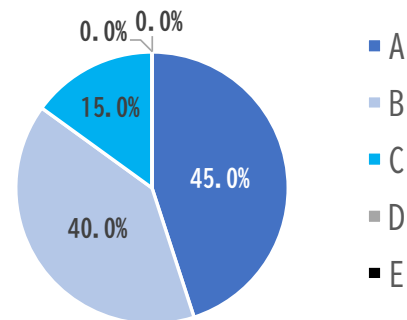
##### 2. 学校教育

| 評価          | 件数  | %     |
|-------------|-----|-------|
| A：高く評価できる   | 52  | 47.3% |
| B：やや評価できる   | 54  | 49.1% |
| C：どちらともいえない | 4   | 3.6%  |
| D：あまり評価できない | 0   | 0.0%  |
| E：全く評価できない  | 0   | 0.0%  |
| 計（無回答除く）    | 110 |       |



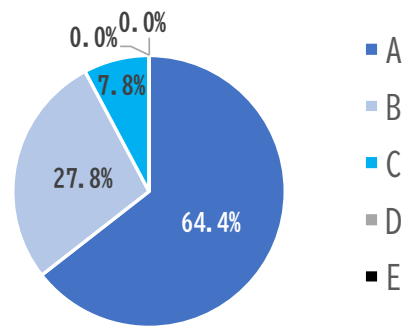
##### 3. 社会教育・青少年健全育成

| 評価          | 件数 | %     |
|-------------|----|-------|
| A：高く評価できる   | 27 | 45.0% |
| B：やや評価できる   | 24 | 40.0% |
| C：どちらともいえない | 9  | 15.0% |
| D：あまり評価できない | 0  | 0.0%  |
| E：全く評価できない  | 0  | 0.0%  |
| 計（無回答除く）    | 60 |       |



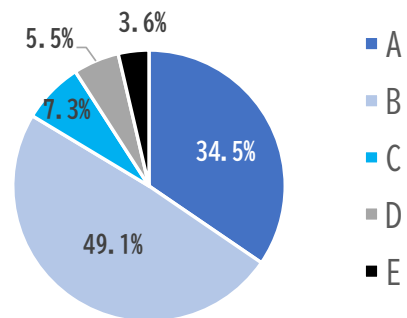
#### 4. スポーツ

| 評価          | 件数 | %     |
|-------------|----|-------|
| A：高く評価できる   | 58 | 64.4% |
| B：やや評価できる   | 25 | 27.8% |
| C：どちらともいえない | 7  | 7.8%  |
| D：あまり評価できない | 0  | 0.0%  |
| E：全く評価できない  | 0  | 0.0%  |
| 計（無回答除く）    | 90 |       |



#### 5. 文化・芸術

| 評価          | 件数 | %     |
|-------------|----|-------|
| A：高く評価できる   | 19 | 34.5% |
| B：やや評価できる   | 27 | 49.1% |
| C：どちらともいえない | 4  | 7.3%  |
| D：あまり評価できない | 3  | 5.5%  |
| E：全く評価できない  | 2  | 3.6%  |
| 計（無回答除く）    | 55 |       |



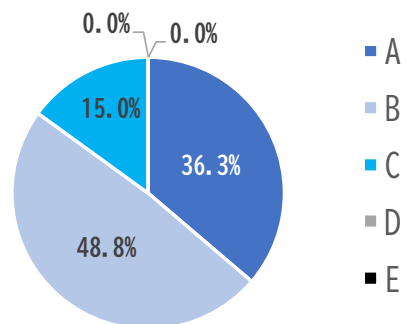
## (5) 基本目標5 ともに担う参画と協働のまち

| 施策項目         |
|--------------|
| 1. 協働のまちづくり  |
| 2. コミュニティ活動  |
| 3. 人権・男女共同参画 |
| 4. 交流、定住・移住  |
| 5. 行財政経営     |

| 評価の高い項目                                                                       |
|-------------------------------------------------------------------------------|
| A：高く評価できる、B：やや評価できるの合計割合が最も多い項目は「5. 行財政経営」（96.5%）。次いで「1. 協働のまちづくり」（85.0%）。    |
| 評価の低い項目                                                                       |
| D：あまり評価できない、E：まったく評価できないの合計割合が最も多い項目は「4. 交流、定住・移住」（6.2%）、次いで「5. 行財政経営」（1.2%）。 |

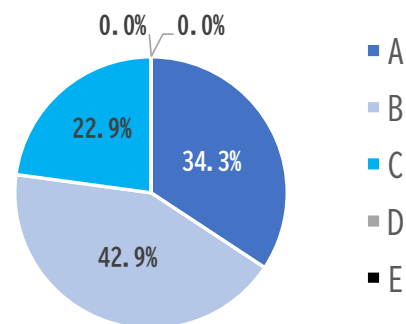
### 1. 協働のまちづくり

| 評価          | 件数 | %     |
|-------------|----|-------|
| A：高く評価できる   | 29 | 36.3% |
| B：やや評価できる   | 39 | 48.8% |
| C：どちらともいえない | 12 | 15.0% |
| D：あまり評価できない | 0  | 0.0%  |
| E：全く評価できない  | 0  | 0.0%  |
| 計（無回答除く）    | 80 |       |



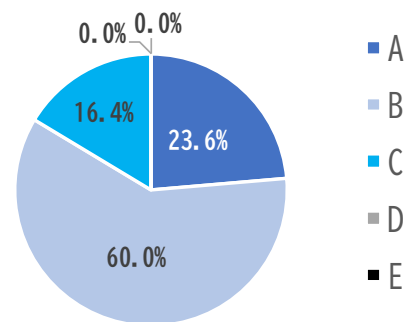
### 2. コミュニティ活動

| 評価          | 件数 | %     |
|-------------|----|-------|
| A：高く評価できる   | 12 | 34.3% |
| B：やや評価できる   | 15 | 42.9% |
| C：どちらともいえない | 8  | 22.9% |
| D：あまり評価できない | 0  | 0.0%  |
| E：全く評価できない  | 0  | 0.0%  |
| 計（無回答除く）    | 35 |       |



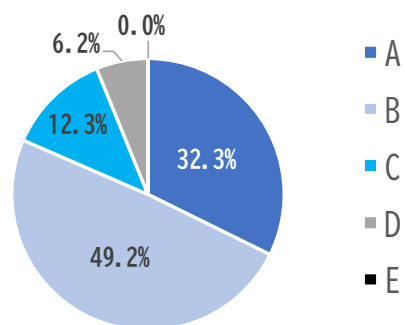
### 3. 人権・男女共同参画

| 評価          | 件数 | %     |
|-------------|----|-------|
| A：高く評価できる   | 13 | 23.6% |
| B：やや評価できる   | 33 | 60.0% |
| C：どちらともいえない | 9  | 16.4% |
| D：あまり評価できない | 0  | 0.0%  |
| E：全く評価できない  | 0  | 0.0%  |
| 計（無回答除く）    | 55 |       |



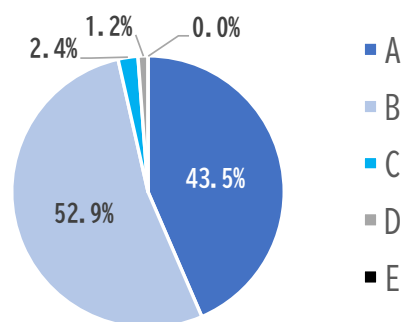
#### 4. 交流、定住・移住

| 評価          | 件数 | %     |
|-------------|----|-------|
| A：高く評価できる   | 21 | 32.3% |
| B：やや評価できる   | 32 | 49.2% |
| C：どちらともいえない | 8  | 12.3% |
| D：あまり評価できない | 4  | 6.2%  |
| E：全く評価できない  | 0  | 0.0%  |
| 計（無回答除く）    | 65 |       |



#### 5. 行財政経営

| 評価          | 件数 | %     |
|-------------|----|-------|
| A：高く評価できる   | 37 | 43.5% |
| B：やや評価できる   | 45 | 52.9% |
| C：どちらともいえない | 2  | 2.4%  |
| D：あまり評価できない | 1  | 1.2%  |
| E：全く評価できない  | 0  | 0.0%  |
| 計（無回答除く）    | 85 |       |



※主要施策ごとの委員アンケートの回答結果は別紙参照。